

# TAYCA REPORT

第148期 年度報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

WE TRY NEW

いつも未来に挑戦

**TAYCA**

テイカ株式会社

証券コード:4027



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は平成26年3月31日をもちまして、第148期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）を終了いたしましたので、決算の概況などにつきまして、ご報告申し上げます。

平成26年6月  
代表取締役社長 **名木田 正男**

**社長就任にあたり**

このたび、平成26年6月27日付で代表取締役社長に就任いたしました。当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況にあります。新体制のもと効率的かつ迅速な経営を推進し、更なる成長を図っていく所存であります。今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

**当期の業績について**

当期は事業環境や顧客ニーズの変化に対応した販売活動を積極的に展開するとともに、コスト削減を図るべく事業全般にわたる効率化・合理化を進めました。主にチタン鉱石や燃料等に係わる製造原価の上昇があり、当期の連結業績は、売上高361億8千6百万円（前期比4.0%増）、経常利益は26億8千2百万円（前期比4.8%減）、当期純利益は16億6千7百万円（前期比3.2%減）となりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株当たり6円とさせていただきます。

**次期の見通しについて**

今後の経済見通しにつきましては、国内景気の緩やかな回復が見込まれるものの、円安による原材料価格上昇や新興国の景気減速懸念などにより、不透明な状況が続くものと予想しております。

当社グループを取り巻く事業環境は、まず、酸化チタンに関しましては、原料鉱石価格の高止まりや

重油価格の高騰、世界的な供給過剰等により、収益面は厳しくなると考えております。

微粒子酸化チタンや微粒子酸化亜鉛、表面処理製品に関しましては、紫外線対策のUVカット剤としての需要が旺盛で、国内外ともに市場拡大を予想しており、表面処理製品では、2015年春の完成を目指し、工場の増設工事を進めております。

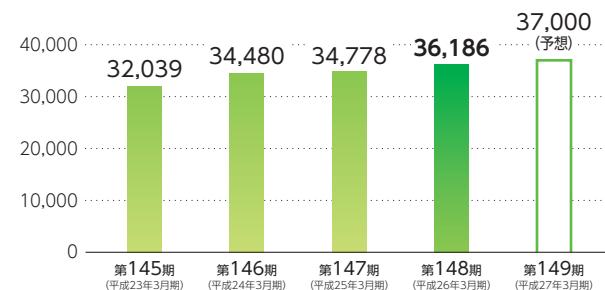
界面活性剤に関しましては、国内洗剤市場の需要拡大が見込めない一方で、東南アジアの洗剤市場は著しい成長を続けており、タイの連結子会社がフル生産に近い状況にあるため、東南アジアでの新しい拠点として、2014年2月、ベトナムに連結子会社を設立いたしました。

以上の状況から、次期の連結業績につきましては、現時点で売上高370億円、経常利益29億円、当期純利益18億円を見込んでおります。

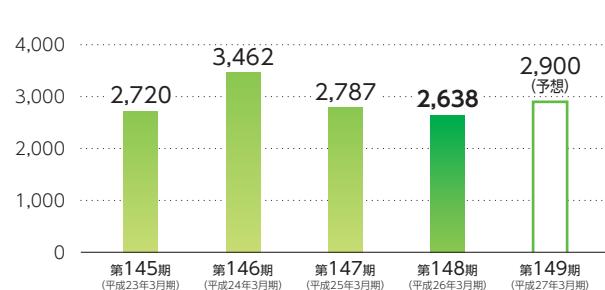
なお、次期の配当金につきましては、現時点で当期に比べ2円増配し、1株当たり8円を予定しております。

連結財務ハイライト

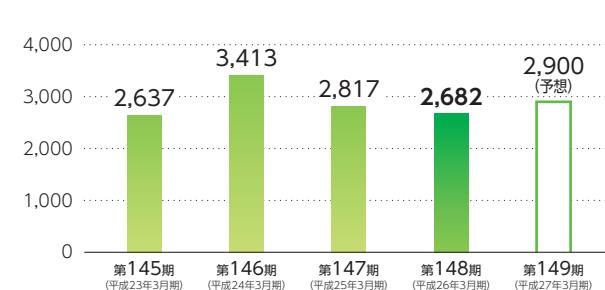
売上高 (単位:百万円)



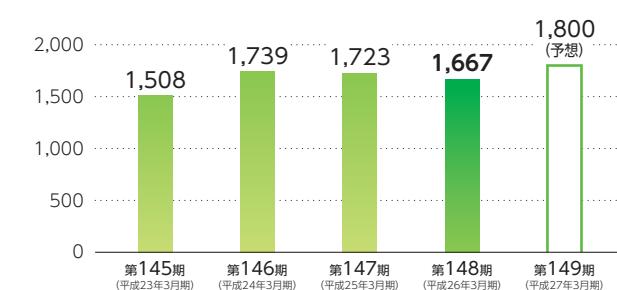
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



当期純利益 (単位:百万円)



酸化チタン関連事業

- 汎用用途の酸化チタンは、国内の塗料・インキ向けの販売が堅調に推移するも、輸出は減少、売上高は前期を下回る。
- 機能性用途の微粒子酸化チタンは、欧州向け輸出は減少するも、円安により売上高は前期を上回る。
- 表面処理製品は、顧客ニーズに合わせた拡販に努め、売上高は前期を上回る。

売上高

酸化チタン  
関連事業  
20,689百万円  
(57.2%)



0.0%増  
(前期比)



主要な事業内容

酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、赤外線遮蔽酸化チタン、光触媒用酸化チタン等の製造、販売

会社名

当社  
テイカ商事(株)

その他事業

- 界面活性剤は、主用途の洗剤等日用品向けが順調に推移。タイの連結子会社の販売も好調を維持し、売上高は前期を大きく上回る。
- 無公害防錆顔料は、好調に推移し、売上高は前期を上回る。
- 硫酸および導電性高分子酸化重合剤は、ともに低調に推移し、売上高は前期を下回る。
- 倉庫業は、期後半より荷扱量が増加し、売上高は前期を上回る。
- エレクトロ・セラミックス製品は、医療用向けが好調に推移し、売上高は過去最高となる。

売上高

その他事業  
15,497百万円  
(42.8%)

10.0%増  
(前期比)



主要な事業内容

界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料、導電性高分子酸化重合剤、エレクトロ・セラミックス製品等の製造、販売  
化学工業薬品等の輸送、保管

会社名

当社  
テイカ倉庫(株)  
テイカ商事(株)  
ティーエフティー(株)  
テイカM&M(株)\*  
TAYCA (Thailand) Co.,Ltd.  
TAYCA (VIETNAM) CO.,LTD.

\*平成25年10月1日付で、朝日商運(株)はテイカM&M(株)に社名を変更しました。

熊山工場増設に関するお知らせ

表面処理製品は化粧品・トナー分野を中心に年々販売量が増加し、現在はフル稼働に近い状態となっています。

そこで、当社熊山工場内に新たに1,200トン/年の生産能力を持つ工場を増設することといたしました。

【2015年春の生産開始予定】



グローバルニッチトップ企業100選に選定



経済産業省の「グローバルニッチトップ企業100選」に選ばれました。

日焼け止め化粧品などに使用される「微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛」は、世界トップのシェアを獲得しており、今回、このような技術開発力が高く評価されたものです。

「グローバルニッチトップ企業」として、今後も更なる製品開発に取り組み、グローバルシェアの維持拡大につなげていきたいと考えています。

グローバルニッチトップ企業100選とは…

国際市場の開拓に取り組んでいる企業のうち、ニッチ分野において高いシェアを確保し、良好な経営を実践している企業を選定、顕彰するというものです。選定は今回が初めてです。

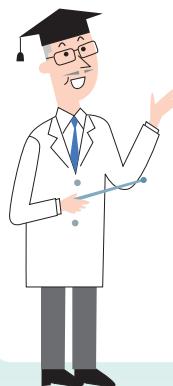
# テイカのチカラ Vol.1 製品力 「酸化チタン」編

テイカの事業について、分かりやすくテイカ博士がご紹介します。  
第1回は「酸化チタン」です。



テイカ博士

## 酸化チタンとは？



### イルメナイト鉱等を原料にしています。

チタン元素は、18世紀末にイングランドとドイツの学者によって発見され、ギリシャ神話の巨人「タイタン(Titan)」から命名されました。チタン元素は地表の多くの物質に含まれているものの、含有量の高い鉱石は少なく、現在使われているのはイルメナイト鉱、ルチル鉱、アナターゼ鉱に限られています。これらの鉱石を原料に、酸化チタンが1916年に初めて開発され、以来、さまざまな用途で使われています。



## 多彩な用途に使用される酸化チタン

### 私たちの身近な場所で、さまざまなチカラを発揮しています。

酸化チタンの特長として、無毒性、化学的・物理的安定性、耐久性に優れています。さらに、以下のような特長を活かして、暮らしの身近なところで活躍しています。



**<高い隠蔽性>**  
塗料、印刷インキ、プラスチック、化学繊維、製紙など



**<紫外線遮蔽効果>**  
日焼け止め化粧品、自動車のトップコートなど



**<遮熱効果>**  
舗装道路、建築物、船舶、自動車、家電製品など



**<光触媒効果>**  
建物の外壁、カーテン、ブラインド、空気清浄機など

建築用塗料や壁紙、インキなどにも使われています。



## テイカの酸化チタン

酸化チタンの用途は、ますます広がりを見せています。

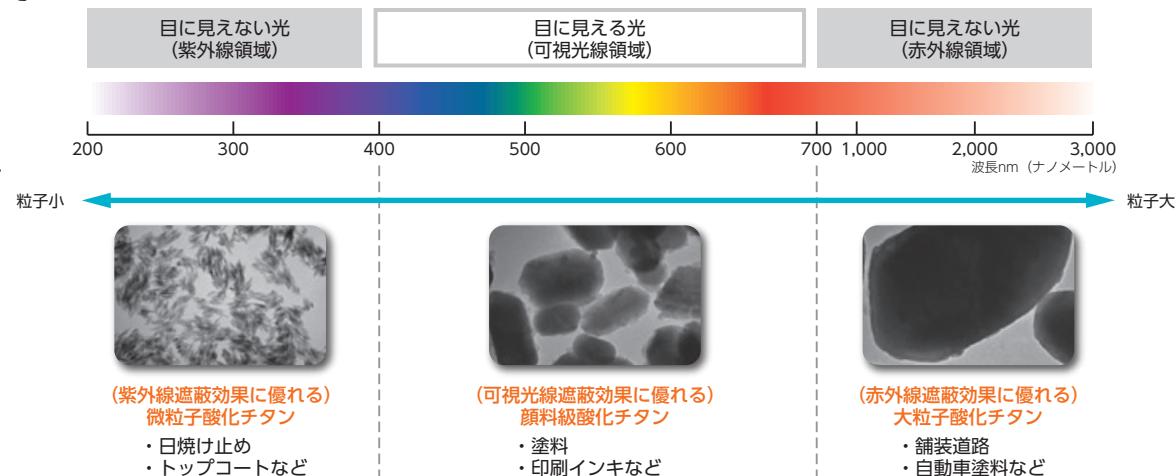


### 常に他社をリードする、独創的な製品を開発しています。

当社は1951年より酸化チタンの製造を開始し、半世紀以上にわたって粒子径・形状制御など独自の技術とノウハウを蓄積してきました。

粒子径や形状を制御することで、目に見える波長(可視光線領域)だけでなく、波長の短い光(紫外線領域)や波長の長い光(赤外線領域)も遮蔽できる酸化チタンを製造しています。

#### 光の全領域に対応した製品ラインナップ



## 酸化チタンの未来

### これからも新しい可能性を追求します。



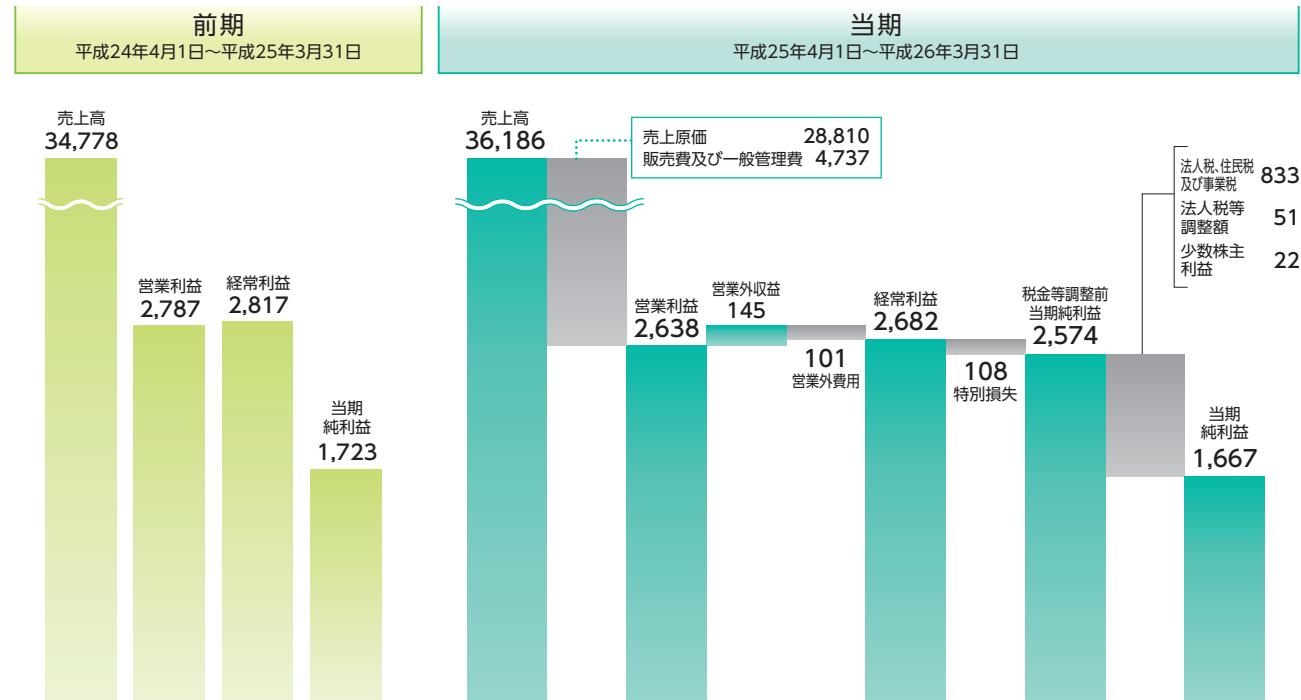
酸化チタン分散液

今後も、当社は顔料級酸化チタンだけではなく、UVカットや遮熱などの非顔料用途にも力を注いでいきます。また、新しい用途として触媒材料・高屈折率材料向けの分散液などの開発も進め、暮らしや産業の発展に貢献する製品を創り出していきます。

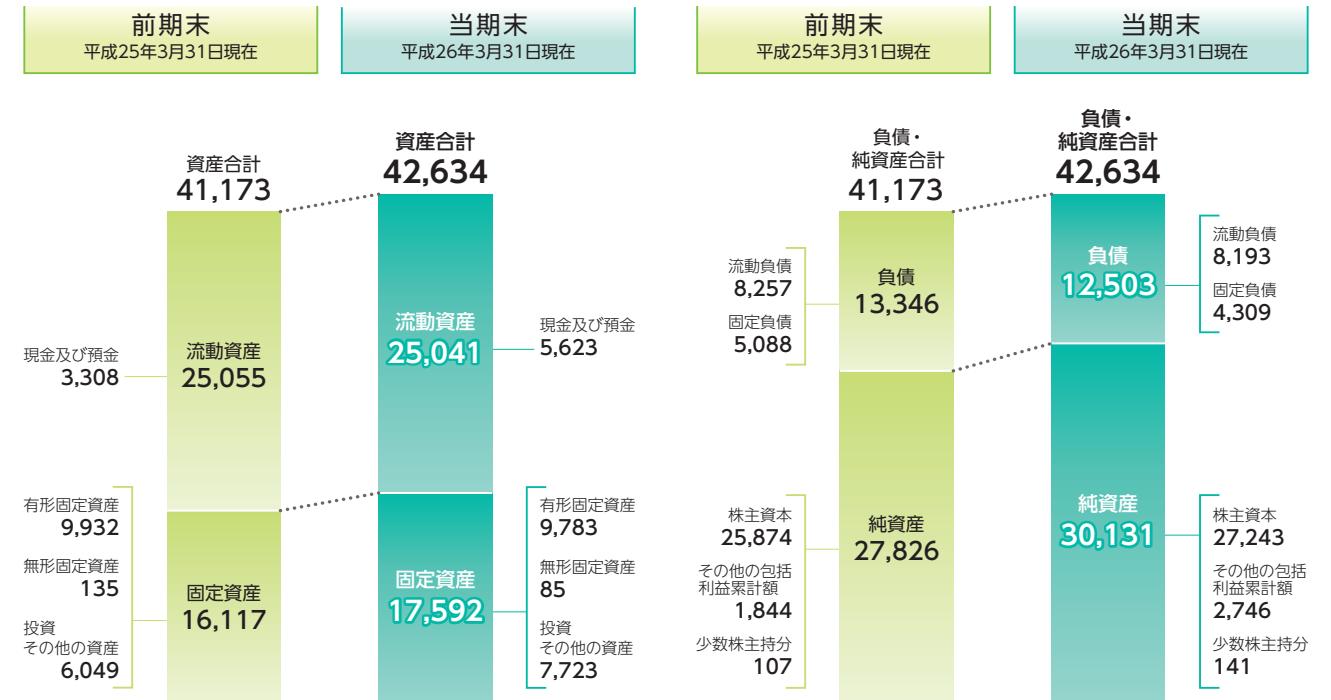
創業100周年に向け、新製品の開発にも力を入れています。



□ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



□ 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



□ 平成27年3月期通期連結業績予想 (単位:百万円)

	当期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	来期予想 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	前期比
売上高	36,186	37,000	+2.2%
営業利益	2,638	2,900	+9.9%
経常利益	2,682	2,900	+8.1%
当期純利益	1,667	1,800	+7.9%

**POINT 1 営業利益**

事業環境や顧客ニーズの変化に対応した積極的な販売活動の展開や事業全般にわたる効率化、合理化に努めましたが、主にチタン鉱石や燃料等に係わる製造原価の上昇があり、営業利益は前期に比べ減少しました。

**POINT 2 資産合計及び負債・純資産合計**

資産合計(総資産)は、現金及び預金の増加により、前期末に比べ14億6千1百万円増加しました。  
負債合計は、借入金の減少により、前期末に比べ8億4千2百万円減少しました。  
純資産合計は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により、前期末に比べ23億4百万円増加しました。

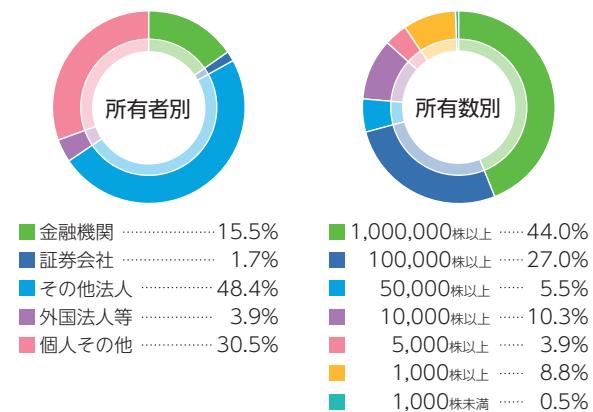
株式の状況 (平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	51,428,828株
株主数	4,858名
大株主	

株主名	所有株式数(千株)
双日株式会社	4,957
三井物産株式会社	3,568
三菱商事株式会社	3,260
山田産業株式会社	2,940
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	2,018
テイクグループ持株会	1,965
関西ペイント株式会社	1,224
住友商事株式会社	1,000
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	781
日本土地建物株式会社	750

(注) 当社は、自己株式1,803千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

分布状況



会社概要 (平成26年6月27日現在)

設立	大正8年12月
資本金	9,855,953,999円
従業員	474名(平成26年3月31日現在)
事業内容	各種化学工業薬品の製造、販売(酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面処理製品、無公害防錆顔料ほか)

事業所	
本社事務所	大阪市中央区北浜3丁目6番13号 〒541-0041 電話(06)6208-6400(代)
本店	大阪市大正区船町1丁目3番47号
大阪工場	〒551-0022 電話(06)6555-3250(代)
東京支店	東京都中央区日本橋3丁目8番2号 〒103-0027 電話(03)3275-0815(代)
岡山工場	岡山市東区西幸西1072番地 〒704-8136 電話(086)946-8311(代)
熊山工場	岡山県赤磐市小瀬木50番地1 〒709-0717 電話(086)995-9290(代)

役員	代表取締役会長	清野 學
	代表取締役社長	名木田 正 男
	代表取締役専務取締役	古城 康 治
	常務取締役	山崎 博 史
	取締役	吉岡 亨
	取締役	辺見 武 志
	取締役	村上 雅 彦
	取締役	秋川 正 博
	取締役	池上 毅
	取締役	田中 等
	常勤監査役	飯沼 文 博
	常勤監査役	平岡 延 元
	監査役	山田 裕 幸
	監査役	山本 浩 二

(注) 取締役 田中 等は、社外取締役であります。常勤監査役 飯沼文博ならびに監査役 山田裕幸、山本浩二の各氏は、社外監査役であります。また、当社は株式会社東京証券取引所に対して田中 等、山田裕幸、山本浩二の各氏を独立役員とする届出書を提出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

公告方法	電子公告 公告掲載URL <a href="http://www.tayca.co.jp/">http://www.tayca.co.jp/</a> (ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)
------	---

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部

テイカ 100周年へ

## あの日あの時 第2回

### 1934年9月、 室戸台風による壊滅から復興へ

1934年（昭和9年）9月21日、室戸台風が関西地方を襲い、当社大阪工場は2mにも及ぶ高波によって壊滅的な被害を受けました。しかし、被災後すぐに復興工事に着手し、1935年8月には被災前の状態に戻りました。



鉛室倒壊の惨状

### 1942年4月、 社名変更 帝国化工株式会社

1942年（昭和17年）4月16日、臨時株主総会にて帝国人造肥料株式会社を帝国化工株式会社に変更しました。

### 1942年6月、岡山工場の完成

太平洋戦争突入後の航空機拡充に伴い、アルミニウムの需要が増加していたなか、弗化アルミニウムの増産のため、1942年（昭和17年）6月に岡山工場が完成しました。



建設中の岡山工場

**TAYCA**  
テイカ株式会社

<http://www.tayca.co.jp/>



本印刷物は、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



**UD**  
FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。